令和６年３月 31 日

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長　殿

住所　札幌市中央区北３条西７丁目
管理機関（代表の機関）名　北海道教育委員会
代表者名　倉本　博史

１管理機関

①管理機関（市区町村・都道府県）

ふりがな 管理機関名	ほっかいどうきょういくいいんかい 北海道教育委員会
代表者職名	教育長
代表者職名	倉本　博史

②管理機関（産業界）※２団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな 管理機関名	あっけしぎょぎょうきょうどうくみあい 厚岸漁業協同組合
代表者職名	代表理事組合長
代表者氏名	蔵谷　繁喜

③管理機関（学校設置者）

ふりがな 管理機関名	あっけしちょう 厚岸町
代表者職名	町長
代表者職名	若狭　靖

２　指定校名

学校名　　北海道厚岸翔洋高等学校
学校長名　山本　十三

３　事業名

地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成
～IT 導入による持続可能な地域社会の創造～

４　事業概要

北海道は、日本海、太平洋、オホーツク海と特性の異なる３つの海に囲まれており、基幹産業の１つである水産業は、生産量・額ともに全国トップを誇っている。道東に位置する厚岸町は、豊かな自然に恵まれカキやコンブの一大産地であるものの、人口減少等により、水産業の従事者数は減少傾向にある。こうしたことから、町内唯一の高校であ

り、水産科を有する厚岸翔洋高校が指定校となって、地域の産業界（漁協、道の駅）や自治体（厚岸町）と連携・協働し、IT 技術を活用した「スマート水産業」に関わる機器の設置、取扱方法及び取得データの有効活用のほか、未利用資源の活用や新たな商品化に向けた取組を推進し、三者が一体となって人材育成を図るとともに、地域創生につなげる事業とする。

事業最終年度となる令和６年度は、これまで３本柱として取り組んできた「水産資源の持続化に向けた取組」、「漁家経営の持続化に向けた取組」、「地域産業の持続化に向けた取組」の一層の充実を図り、将来の地域を支えマリン・イノベーターとなり得る生徒を育成するとともに、IT 等を活用した事業の成果などを通して、本校発の地域活性化に資する取組を推進する。

5　学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

☑ ア　学校設定教科・科目を開設している

イ　教育課程の特例の活用している

6　事業の実施期間

契約日～令和７年３月 31 日

7　令和６年度の実施計画

今年度は「事業成果の周知を通して学校の応援団を拡大し、地域と一体となって未来を担う人材を育成する」ことを目標とし、以下の取組を行う。

(1) 厚岸湾に「うみログ」を設置して海洋情報を把握するとともに、厚岸漁業協同組合等の関係機関や漁業者と連携して各種データの有効活用により、地域漁業のスマート化を推進する。

(2) 水中ドローンや空中ドローンの有効活用について、地域の漁業者や関係機関等と連携・協働した取組を通して漁場管理のツールとしての価値を見いだし、漁業現場の課題の解決に資する取組を推進する。

(3) 空中ドローンを活用して漁業実習等の様子を空撮し、実習後に映像を確認して漁労作業や操船等に関する技術の向上を図るとともに、映像をアーカイブ化するなどして継続的に活用できる教材等を開発して授業改善に資する取組を推進する。

(4) 地域の調理師や食品加工業者などの専門家の協力を得て、地元食材を活用したレシピ等の研究開発を通して食品の高付加価値化に取り組むとともに、研究内容をまとめて発信するといった探究活動の充実を図る。

(5) 企業や関係機関と連携して、地域の水産物を活用した商品開発に取り組み、新商品の販売を通して地域を PR するとともに、生徒が商品開発のポイントやブランディングなどの手法を習得する。

(6) 企業や関係機関などの専門家による出前授業を通して、最先端の知識や技術を学ぶことで学習意欲を高め、卒業後も学びを継続して地域課題の解決に取り組むことができる人材を育成する。

(7) 事業成果を町内外に広く発信・普及するため、写真や動画、各種データ等を整理して映像コンテンツを作成し、町内の施設等に AndroidＴＶを設置して多くの人が本校の取組を知ることができ、支援の輪の拡大につながる周知活動の充実を図る。

(8) 持続的に地域の未来を担う人材を育成するため、次年度からの学校設定科目の導入

に向けて、科目目標及び指導項目、実習内容を整理するなどして、教育課程刷新に向けた取組を推進する。

＜添付資料＞

・令和６年度教育課程表

８　事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
倉　本　博　史	北海道教育委員会・教育長
若　狭　　靖	厚岸町・町長
蔵　谷　繁　喜	厚岸漁業協同組合・代表理事組合長
木　村　英　也	北海道釧路総合振興局・局長
中　村　一　明	厚岸町商工会・会長
荻　原　俊　和	株式会社厚岸味覚ターミナル・副支配人
宮　崎　亜希子	釧路水産試験場・場長
山　本　十　三	北海道厚岸翔洋高等学校・校長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
和　田　雅　昭	公立はこだて未来大学・教授 マイスター・ハイスクール CEO
安　藤　義　秀	厚岸観光協会・事務局長 産業実務家教員
星　澤　克　幸	北海道教育庁高校教育課・指導主事
及　川　剛　志	北海道教育庁釧路教育局・主査
髙　橋　政　一	厚岸町水産農政課・課長
林　　亮　太	厚岸漁業協同組合・総務部長
岩　﨑　純　史	厚岸町商工会・事務局長
仲　岡　雅　裕	北海道大学厚岸臨海実験所・所長
永　田　淳　人	釧路地区水産技術普及指導所・所長
小　島　郁　子	厚岸町社会教育委員会・委員
山　本　十　三	北海道厚岸翔洋高等学校・校長
長谷川　智　人	北海道厚岸翔洋高等学校・教頭
山　本　健太郎	北海道厚岸翔洋高等学校・海洋資源科長

９　課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（契約日～令和７年３月 31 日）											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
海洋情報データの活用		○	○	○	○	○	○	○				
漁場管理のスマート化			○	○	○	○	○					
ドローンの有効活用		○	○	○	○	○	○	○				
企業と連携した新商品開発		○	○	○	○	○	○	○			○	

地元食材の高付加価値化				○	○	○	○	○			○	
最新の知識技術を習得			○		○		○		○			
IT を活用した成果の発信		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校設定科目の整理		○	○	○	○	○	○	○				

10　知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお，１．を選択する場合，契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

（　）１．知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

（○）２．知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11　再委託の有無

再委託業務の有無　　有　・　無

12　所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者：　　課税事業者・免税事業者　（□で囲むこと）